

ラジオ広報（20年度医療費の状況） 11/23（月）放送

アナ	<p>皆さま、こんにちは。長寿医療ひとくちメモのお時間です。</p> <p>今日は、平成20年度の長寿医療制度の医療費の概要について、栃木県後期高齢者医療広域連合の〇〇さんに伺いたいと思います。</p> <p>〇〇さん、よろしくお願いします。</p>
〇〇	はい、よろしくお願いします。
アナ	早速ですが、〇〇さん。平成20年度栃木県の長寿医療制度の医療費は、一体どれくらいの金額になるのでしょうか。
〇〇	はい。昨年4月から長寿医療制度がスタートしたわけですが、平成20年度の医療費は、総額でおよそ1,425億円となっています。この金額を長寿医療制度の平成20年度の1ヶ月平均の被保険者21万人で割ると、1人当たりおよそ68万円です。
アナ	医療費といっても、入院する人や外来で治療を受ける人など、様々なケースがあると思いますが、その内訳はどのようになっているのですか。
〇〇	はい。先ほど申し上げました医療費の内訳は、入院がおよそ625億円で全体の44%を占めています。次に、外来診療がおよそ511億円で全体の36%、薬局で処方された薬代がおよそ203億円で14%となっています。
アナ	お話を伺っていると、とても大きな金額ですが、全国的に見て栃木県の長寿医療制度の医療費は多い方なのでしょうか。
〇〇	<p>いいえ。多い方ではありません。国民健康保険中央会というところでまとめた統計によりますと、平成20年度の長寿医療制度の都道府県別1人当たり医療費で、栃木県は多い方から数えて40番目ですから、逆に1人当たり医療費が少ないほうから数えると8番目という状況です。</p> <p>別の角度から比較しますと、全国平均の1人当たり医療費を100とした場合、栃木県の1人当たり医療費はおよそ87%の水準に留まっています。</p> <p>都道府県別の、1人当たり医療費の傾向としては西高東低、つまり九州地方など西日本の方が高く、栃木県を含む東日本が低い状況です。</p>
アナ	わかりました。長寿医療制度の1人当たり医療費は、都道府県ごとに差があるのですね。ところで、平成21年度も半分以上が経過しましたが、現在の長寿医療制度の医療費は、昨年と同じ時期と比べてどのようになっていますか。
〇〇	はい、平成21年度上半期の医療費総額は、およそ814億円で、昨年と同じ時期と比べて、46億円増えています。率にすると6%の増加です。被保険者の人数も昨年よりおよそ5,500人増えていますので、このコーナーをお聴きの方もご承知のとおり、高齢化が進めば医療費も増加するという状況です。
アナ	<p>わかりました。この番組についてのお問い合わせは、</p> <p>栃木県後期高齢者医療広域連合 電話028-627-6805までお願いいたします。明日は、高額療養費について伺います。</p> <p>〇〇さん、今日はありがとうございました。</p>
〇〇	ありがとうございました。